

## 2026年度大会のお知らせ（予告）

2025年8月末日

日本農業経済学会

**1. 概要** 日本農業経済学会 2025 年度大会は、2026 年 3 月 28 日（土）と 29 日（日）の 2 日間の日程で、鳥取大学（〒680-8553 鳥取県鳥取市湖山町南 4 丁目 101 を会場として開催します。本大会は現地での対面開催を予定しています。大会 1 日目は 9:00～17:00 の予定でシンポジウム等を実施し、終了後に懇親会を行います（懇親会会場）。大会 2 日目は 9:00～16:00 の予定で個別報告（口頭報告およびポスター報告）・特別セッション、ミニシンポジウムを実施します。多数のご参加をお待ちしております。

**2. 参加登録** 本大会への参加は、原則的に大会特設サイトを通じた事前登録制とします。参加申込の開始は 2026 年 1 月上旬頃を予定しています。大会参加費は正会員：4,000 円、一般：5,000 円、学生会員：3,000 円 名誉会員：無料とし、懇親会費は、正会員：5,000 円 一般：6,000 円 学生会員：3,000 円 名誉会員：無料 とする予定です。詳細は、10 月下旬の大会案内でお知らせします。

### 3. 大会シンポジウム

前回の大会シンポジウム「新たな時代を迎える日本の食と農—ポスト新自由主義の食農経済論—」において、世界の一部（特にアメリカ）は既に、政府介入を強め自国利益を追求するポスト新自由主義の時代に到達していることが確認された。しかしながら「望ましいポスト新自由主義」は、社会的連帯に基づいて貧困や格差・分断、食料危機、生物多様性喪失などの社会課題の解決をめざすものであることが明示され、この「望ましいポスト新自由主義」を引き寄せる方策をめぐり、市民・消費者の主体性の強化や倫理的消費者の増加などが議論された。

そこで今回のシンポジウムでは、「ポスト新自由主義の食農経済論—具体像と到達への道筋—」と題し、「望ましいポスト新自由主義」時代における農業・農村と食料消費の具体像として、①地域資本が生み出す循環経済構築、②農業法人による ESG（環境・社会・ガバナンス）活動、③市民参加で推し進める有機農産物の生産・消費、④「サステナブル」食品の消費について明示する。

さらに、それらが拡張して「望ましいポスト新自由主義」に到達する道筋（後押しする方策）として、「地域資本・地元中小企業」「市民参加」「消費者への情報発信・ナッジ」「社会的連帯・コミュニティビジネス」「社会運動・オルタナティブ」に焦点を当て、それらの意義と課題を解明する。

#### 4. ミニシンポジウム

2025年10月より、本学会誌『農業経済研究』及び『Japanese Journal of Agricultural Economics』において、投稿システム（Aries Systems Cooperation社のEditorial Manager®）の運用が開始される予定である。

そこで本大会では、「投稿システム導入を契機に学会誌編集のあり方を再検討する」と題するミニシンポジウムを開催し、導入予定の投稿システムの内容と、投稿時から掲載後までの注意点、投稿論文の審査手順・基準について説明する。会員（投稿者と査読者）との意見交換により相互理解を深め、投稿数の増加及び学会誌編集の改善につなげたいと考えている。

**5. 個別報告等** 本大会では、①個別報告（口頭報告）、②個別報告（ポスター報告）、③特別セッションをそれぞれ募集します（※特別セッションは、研究グループによる共通テーマの下、複数の研究報告と討論、および会場参加者との質疑を行う研究の場です）。ただし、筆頭での報告は、①②③を通じて1報告に限られます。口頭報告の報告時間は25分（報告17分・質疑7分・交代時間1分）を予定しています。ポスター報告は、満40歳未満の筆頭報告者を対象としたポスター賞の選考の対象となるため、指定時間に10分の報告（質疑応答3分を含む）を行うことが求められます。特別セッションは、1セッション当たりの時間を3時間以内に収めてください（セッション内の時間配分は、代表者に委ねられます）。エントリーは11/30（日）～12/8（月）の期間に受け付ける予定ですが、詳細は10月下旬の大会案内及び学会ホームページを通じてお知らせします。

**※留意事項** ① 報告言語として日本語または英語のどちらかを選択していただきますが、エントリー時に提出する報告要旨・報告原稿、当日の発表用資料、また、大会終了後の投稿原稿についても、選択した言語を用いて作成していただく必要があります。

② エントリーに際しては、4～6頁の完成原稿の提出が必要となりますのでご注意ください（特別セッションにおける報告も原則的に同様です）。

③ 個別報告の筆頭報告者及びコレスポンディングオーサーは、大会時に本学会の会員であることが求められます。また、特別セッションの代表者および報告者・コレスポンディングオーサーも、個別報告と同様の会員要件が求められます（座長・コメンテーターについては、制約はありません）。未会員の方は、学会ホームページを通じてあらかじめ入会手続きを行ってください。

④ 個別報告（口頭報告・ポスター報告）および特別セッションにおける個々の報告は、大会終了後に、筆頭報告者を筆頭著者として、和文報告は「報告論文」として『農業経済研究』に、英文報告は「Research Letters」として『Japanese Journal of Agricultural Economics (JJAE)』に投稿することができます。投稿を予定している方は、学会ホームページに掲載している論文投稿規程などをあらかじめご確認ください。

⑤ 特別セッションは、運営のための実費相当（会場費やアルバイト代等）をご負担いただきます。料金は1セッション当たり2時間までが1万円、2時間を超えて3時間までを1.5万円に設定する予定です。支払方法等の詳細は後日、代表者に個別にご連絡します。

**6. 保育室の設置**：本大会は現地開催を予定しているため、1歳児以上を対象として、大会期間中の保育室の設置を検討しています。利用を希望される方の意向をお伺いすることになりますが、詳細は10月下旬の大会案内でお知らせします。

**7. 問合せ先**：本大会に関する問い合わせは学会事務局までお願いします。

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4（新共立ビル2階）（株）共立内

日本農業経済学会事務局（担当：齋藤・諏訪）

電話：03-3551-9896

FAX：03-3533-2047 e-mail：[office@aesjapan.sakura.ne.jp](mailto:office@aesjapan.sakura.ne.jp)

日本農業経済学会 HP：<https://www.aesjapan.or.jp/>

以上